

ちがさき 暮らしの情報



…イベント …講座 …相談 …案内 …募集 …表彰

◆申込欄に詳細がないものは問合へ(市役所は☎(82)1111・来庁(来館・来所)で開庁(開館・開所)時間内に申し込み明記のないものは
●持ち物はお問い合わせください ●費用は無料

凡例 ☎電話 ☒ファクス ☓電子メール ☑ホームページ (☎・☒に局番がないものは、全て市内(0467))

インディアカでいい汗かこう～羽根付きのボールを使う4人制バレーボール

日時 7月10日(水)9時40分～12時
場所 総合体育館
対象 新たにスポーツを始めたい方、スポーツ経験を生かしたい方20人(申込制(先着))
申込 7月9日(火)までに☎で
ほか 室内用運動靴持参
問合 茅ヶ崎インディアカ協会☎(88)6007森元

なぎなた体験教室(全4回)

日時 7月13日・20日・27日、8月10日いずれも土曜日9時30分～12時
場所 総合体育館
対象 小学4年生以上の初心者10人(申込制(先着))
申込 7月1日(月)までに☎で(住所・氏名・電話番号を記入し、☎(38)8535も可)
問合 茅ヶ崎なぎなた協会☎(38)8535山田

茅ヶ崎万歩クラブ 湘南平ウォーキング(約8km)

日時 7月21日(日)8時～
ほか 費用500円(入園料などは別途)。JR東海道線大磯駅集合・解散。詳細は市庁参照
問合 茅ヶ崎万歩クラブ☎090(2497)8972石田

キッズ体操教室

①とびばこ②てつぼう(いずれも全4回)
日時 7月22日(月)～8月1日(木)の毎週月・木曜日①9時15分～10時15分②10時30分～11時30分(予備日8月5日(月))
場所 総合体育館
対象 市内在住で①4歳(教室初日時点)～未就学児②小学1～3年生各20人(いずれも申込制(抽選))
申込 7月1日(月)①9時45分～10時②10時45分～11時に総合体育館会議室で整理券を配布(1人1枚。代理人可)
ほか 費用2500円
問合 総合体育館☎(82)7175

クラブ対抗陸上競技大会

日時 7月28日(日)9時30分～(雨天決行。荒天時8月4日(日))
場所 柳島スポーツ公園総合競技場
対象 市内在住・在勤・在学で高校生以上の方(申込制。寒川高校の生徒も可)
申込 7月1日(月)～4日(木)(必着)に申込書(市庁で取得可)を〒253-0084円蔵2-6-29小室誠一へ
ほか 費用1種目500円(茅ヶ崎陸上競技協会登録者・高校生は300円)、リレー1チーム700円
問合 茅ヶ崎陸上競技協会☎090(1863)7284小室

無料ジュニアテニス教室

①小学生の部②幼児(3歳～6歳)の部
日時 ①7月29日～9月23日の毎週月曜日16時～17時10分
②7月30日～9月24日の毎週火曜日15時40分～16時

40分(いずれも全9回)
場所 湘南インドアテニスクラブ
定員 各24人(いずれも申込制(抽選))
申込 7月10日(水)(消印有効)までに、往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・性別・電話番号・テニス歴を記入し、〒253-0043元町14-1湘南インドアテニスクラブ内「茅ヶ崎市テニス協会・ジュニアテニス教室」係へ郵送
問合 茅ヶ崎市テニス協会☎(83)8888川又

スタンドアップパドルサーフィン(SUP)体験教室

日時 8月3日(土)①8時30分～9時30分②10時～11時(予備日8月17日(土))
場所 茅ヶ崎海岸ヘッドランド付近
対象 ①市内在住・在学の小・中学生15人②市内在住・在勤・在学の15歳以上(中学生不可)の方15人(いずれも申込制(抽選))
申込 7月6日(土)9時45分～10時に総合体育館会議室で整理券を配布(1人1枚。代理人可)
ほか 費用1組3500円(保険料、ボードレンタル料込み)
問合 総合体育館☎(82)7175

市総合体育大会～バレーボール競技(6人制)小学生の部

日時 8月4日(日)8時30分～
場所 総合体育館
対象 市内在住・在学で小学5年生以下の女子、小学6年生以下の男子・女子で構成されたチーム、または茅ヶ崎小学生バレーボール連盟に登録されたチーム(申込制)
申込 7月19日(金)17時までに申込書(総合体育館内スポーツ推進課で配布中。市庁で取得可)を持参
ほか 7月26日(金)18時30分～総合体育館で代表者会議あり
問合 スポーツ推進課推進担当☎(82)7136

市総合体育大会～バレーボール競技(6人制)一般の部(男子・女子)

日時 8月18日(日)9時～
場所 総合体育館
対象 市内在住・在勤・在学の15歳以上の方で構成された6人制チーム(申込制。中学生不可)
申込 6月14日(金)～8月1日(木)17時に申込書(総合体育館内スポーツ推進課で配布中。市庁で取得可)を持参
ほか 8月2日(金)18時30分～総合体育館で代表者会議あり
問合 スポーツ推進課推進担当☎(82)7136

市民チャレンジジュニアテニス大会 男女シングルス

日時 8月19日(月)・20日(火)(予備日8月26日(月)・27日(火))
場所 柳島スポーツ公園庭球場
内容 10歳以下の男女混合シングルス、12歳以下・中学生・高校生の男女シングルス

対象 市内在住・在学または茅ヶ崎市テニス協会加盟団体所属の小学生～高校生64人(申込制(先着))
申込 7月29日(月)18時(必着)までに申込書(市庁で取得可)を〒253-0082香川7-12-1湘南ローンテニスクラブ内「チャレンジジュニアテニス大会」係へ郵送
ほか 費用1人2000円
問合 茅ヶ崎市テニス協会☎080(4721)7421岩村

女性のためのニュースポーツ体験教室～ファミリーバドミントン・キンボール・室内ペタンク

日時 8月22日(木)9時～11時30分
場所 総合体育館
対象 市内在住・在勤・在学の女性20人(申込制(先着))
申込 8月15日(木)(消印有効)までに、往復はがきに住所・氏名・電話番号を記入し、〒253-0041茅ヶ崎1-9-63総合体育館内茅ヶ崎婦人軽スポーツ連盟へ郵送
問合 スポーツ推進課推進担当☎(82)7136

市総合体育大会～バドミントン競技 一般の部(シングルス・ダブルス)

日時 9月1日(日)9時10分～
場所 総合体育館
対象 市内在住・在勤・在学で15歳以上の方(申込制。中学生不可)
申込 8月9日(金)17時までに申込書(総合体育館内スポーツ推進課で配布中。市庁で取得可)を持参
ほか 費用1人300円
問合 スポーツ推進課推進担当☎(82)7136

夏季の屋内温水プール 徒歩・自転車での来場者にポイントカードを配布

屋内温水プールに車でご来場の際は、屋内温水プールの混雑予測をご覧ください。また、徒歩・自転車でご来場の方に、抽選でオリジナルグッズが当たるポイントカードを配布します。
問合 屋内温水プール☎(84)1144

市民参加・市民活動

明るい選挙推進協議会の会員

内容 市選挙管理委員会と協力して選挙啓発を行う
対象 市内在住の方(申込制)
申込 随時。申込書(市役所選挙管理委員会事務局で配布中)を本人が持参
ほか 費用500円(年額。郵便代など)
問合 選挙管理委員会事務局選挙担当

市民活動交流カフェ 市民がつくる持続可能な未来のエネルギー

日時 7月6日(土)10時～12時
場所 ちがさき市民活動サポートセンター
内容 市民立太陽光発電所「れんこちゃん1号」10周年記念講演会&トークセッション
講師 木下暁子さん(ネクストエナジー・アンド・リソー)

(5面へ続く)

茅ヶ崎ゆかりの人物たち

第八回 小津 安二郎

独自の映像世界から「小津調」を確立し、日本映画界を代表する映画監督として世界的にも高く評価されている小津安二郎。その作品の多くを、中海岸にある茅ヶ崎館に長期滞在して執筆しました。

「小津市民映画」の大手

小津安二郎は1903年、東京・深川に生まれました。10代後半に見たアメリカ映画に影響されて映画の道を志し、1923年、松竹に入社。監督デビュー作『懺悔の刃』は、後にコンビを組むことになる野田高梧が脚本を担当した時代劇でしたが、その後は現代劇の軽妙な中編喜劇を手掛けました。作品では庶民の日常生活で起きている小さな悲喜劇を巧みに描いたことから、「小津市民映画」の大手と評されるようになり、1930年代には松竹を代表する監督の一人となりました。

茅ヶ崎館での執筆活動

松竹は東京近郊の旅館を一定期間借り上げて、監督・脚本家の製作拠点として提供していましたが、多くの映画関係者が滞在し執筆活動を行ったのが茅ヶ崎館でした。茅ヶ崎館は1899年に開業し、同年に開院した結核療養所「南湖院」の見舞い客にも利用されていました。小津が初めて茅ヶ崎を訪れたのは1937年で、1941年には「父ありき」の脚本を茅ヶ崎館で改稿しています。

1947年、小津は「長屋紳士録」を製作し、この作品の舞台の一つとなったのが茅ヶ崎でした。従来、映画では保養地・療養地として描かれることが多かった茅ヶ崎を田舎町として描き、南湖を中心に撮影を行いました。



「早春」撮影中の小津安二郎 提供：茅ヶ崎館

名作の誕生

小津と野田が滞在し、映画関係者が頻りに出入りした茅ヶ崎館「二番」の部屋は、数々の名作を生み出す日本映画界のサロンとなりました。小津は、長期滞在する中で発見した茅ヶ崎の風景を作品に生かしました。「晩春」、「麦秋」、「早春」では、海岸や湘南遊歩道など、当時の茅ヶ崎の風景を見ることが出来ます。また、後に世界的に高い評価を受けた『東京物語』の脚本も茅ヶ崎館で執筆されました。独特の演出方法やロー・ボーションと呼ばれる低い位置からの撮影などの技法に加え、「小津組」と呼ばれたスタッフ・俳優を繰り返し起用することで、「小津調」と称される独自の映像世界を確立し、小津は日本映画界の巨匠の一人に数えられるようになりました。茅ヶ崎館での長期滞在は、1950年代半ばまで続きました。戦前から戦後の作品に至るまで、現在でも小津の作品は国内外から高い評価を受けています。1963年12月12日、小津は還暦を迎える日に没し、北鎌倉円覚寺に墓が建てられました。

【文化生涯学習課市史編さん担当】